

NCNL 図書館だより

No.22
2007.12

特集「修士論文と図書館」

「修士論文と図書館」を特集するにあたって

図書委員会委員・准教授 水口陽子

平成 18 年度に本学の大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）第 1 期生を迎え入れてから、早くも 2 年目の終盤となりました。大学院の設立にあたり図書館の整備は不可欠であり、本学では専門科目に関する書籍や洋書の充実に力を注いできました。

大学院の完成年度にあたるこの時期に、利用者の声を聞いていくことは重要ということで、「修士論文と図書館」を特集することとなりました。



私自身が「修士論文と図書館」というテーマで、まず思い浮かべたことは、学生の頃、修士論文に取り組み始めた時期のことです。指導教官から、研究動機の部分の引用文献について「文献のレベルや検討範囲が適切でない」と指導がありました。その頃は、母校の図書館で看護系雑誌のある書庫にこもり、

図書館で学習できる喜びを実感していました。しかし、自分が興味のある文献に記載された引用文献を見て、そこから文献を探していく方法をとっていたところ、不十分と言われ、急いで、研究方法に関する書籍や、研究テーマに関連する洋書・洋雑誌を読んで、再検討しました。

最近、医学中央雑誌の Web 検索等ができるようになり、文献検討の方法は便利になりましたが、文献レビューを行い、研究の意義や特色を検討することは、ますます重要となっています。研究計画書の作成や論文作成の過程で、図書館の役割は大変大きいと思います。院生の皆さんは、実際にどのように図書館を活用し、どのように感じていましたか。

2 年生は修士論文の完成に向けて全身全霊で取り組んでいる時期であり、1 年生は研究テーマを絞ることに頭を悩ませている時期であろうと思います。今回は、私も図書館だよりの担当として準備を進めてまいりましたが、大変な時期であるにもかかわらず、原稿やメッセージの執筆について多くの方に協力していただき、貴重な意見が得られたと思います。

図書委員会の一員として、今後も利用者の声を聞きながら、学生と地域の看護を学ぶ人に役立ち、教育研究の基盤となる図書館の充実を目指して考えていきたいと思っています。

Contents・・・ページ

巻頭言（水口陽子）	・・・ 1
エッセイ	・・・ 2
書評（飯吉令枝）	・・・ 3

図書館からのお知らせ	・・・ 3
利用統計	・・・ 4
図書館での初歩的な調べ方	・・・ 5
寄贈図書案内	・・・ 6

連載 1. エッセイ

特集「修士論文と図書館」

修士論文と図書館

私は現在、修士論文の作成に日々追われていきます。大学院の研究では、インタビュー調査と質問紙調査を行っていますが、そのデータを収集し、修士論文を作成していくにあたって、図書館の存在というのはなくてはならない存在です。研究計画書に始まり、論文の作成までたくさんの文献を読むことが必要で苦勞しています。また文献を探すだけでなく、最新の雑誌を読むことで、そこから自分の中にはない新しい情報が得られ、研究に役立つこともあります。図書館にない文献の場合は複写依頼をしますが、図書館の職員の方々がいつもスムーズに対応して下さり、対応には感謝しています。

この大学は当然ながら看護系の文献が豊富であり、

論文テーマ模索中

入学して、早半年が過ぎました。修士論文のテーマを模索中の今日この頃です。授業では、日々分からない・知らなかった言葉に出会います。それらを理解し、知識を与えてくれる巨大な辞書が私にとっての図書館です。

検索では、なかなか思うように自分のほしい情報をヒットさせることができません。そんな未熟な私には、時間がある時や、他の検索をしたついでに

図書館への願い

全員が社会人である院生にとって、夜間登校してからの文献入手が困難でした。特に、昼間仕事を持つ者にとっては「文献複写依頼用紙の提出→振込用紙の受け取り→振り込み→受領証の提出→文献の受け取り」の手続きに時間を要し、土曜日や司書さんが不在の夜間に受け取れなかった事で、一層、入手困難な状況となっていました。しかし、今春、要望書を提出したところ、即我々の声に耳を傾けて下さり、ロッカーを使用した文献授受の方法が採り入れられ、この素早い対応に、院生一同、皆感謝しています。また、20冊3週間と十分な貸出の量と時間で助かった事、取り寄せた文献を丁寧に確認し小さな文字の見切れも見逃さない仕事の細やかさ

このほかにも院生からメッセージや感謝の言葉をいただきました

- ・ 仕事が終わった後に夜間利用することが多い。できれば、土曜も20時30分まで利用したい。
- ・ 司書さんが「お疲れ様」と笑顔で声をかけてくれる。仕事で疲れた私にとって夜の図書館は癒しの場。(大学院看護学研究科1年 星野めぐみ)
- ・ 文献検索講習会には参加しなかったが、必要な時に司書さんに尋ねると、丁寧に指導してくれた。
- ・ 文献複写依頼が、ロッカーを使用した受取りができるようになり、助かった。(大学院看護学研究科2年 尾矢博子)

大学院看護学研究科2年 櫻井 信人

大学院生だけでなく、看護師を目指す学部生、地域で働く保健師・看護師の方などにとっても、専門性を発揮できる図書館だと思います。専門的知識や最新情報を得る中心的存在として、今後も多くの方に利用してもらいたいです。

最後に大学院生の立場から、いつでも利用できる図書館になって欲しいという思いがあります。特に働きながら通っている大学院生にとっては、夜間や休日は、勉強し研究を進めていくための貴重な時間です。この時間に図書館を利用できれば、より効率よく研究が進められます。今後の図書館の発展に是非検討いただきしたいと思います。

大学院看護学研究科1年 八波 智美

冊でも多くの本を手に取り何が書いてあるか、ページをめくってみます。地味ですが、今の私にとってはどんなことでも・何でも知識として留め、無理なものは記憶の片隅に詰め込んでおこう！と食欲に見えています。このやり方は、人によっては時間の無駄に思えることでしょうし、実際、もっと時間を有効に使うべきでしょう。しかし、これが今の私には、必要なことではないかと信じて毎日を過ごしております。

大学院看護学研究科2年 内藤知佐子

など、感謝の声が様々聞こえてきています。

一方で、仕事の後に登校しても数時間しか利用できず、土日の講義が終わる頃には閉館してしまう事、遠方から通う学生は次の講義まで登校しないため利用を控えていた等の声も聞かれています。非常に残念です。予算の都合もあり、閉館時間の延長等は簡単に解決できない難しい課題かもしれませんが、地域の看護師からも時間延長を求める声は聞かれています。本学図書館が、より一層学生と地域に開かれた図書館へと改善され、今後益々発展していく事を、心よりご祈念申し上げます。(編者注：文献複写依頼＝学外への文献複写依頼)

連載 2. 書評

『無名の語り 保健師が「家族」に出会う 12 の物語』
宮元ふみ著 医学書院 2006

講師 飯吉令枝

この本には、東京都の保健師であった著者、宮本さんの体験をもとに書かれた 12 編の「家族の物語」が綴られています。現在、家族も多様化し、地域に暮らす人々の健康問題も複雑になってきています。この本の中でも「アルコール依存症」「社会的ひきこもり」「児童の攻撃行動」「統合失調症、脳性まひ、筋萎縮性側索硬化症」など、複数の健康問題を抱え破綻しつつある家族の暮らしの状況が様々に語られています。そして、その家族の声を著者が聞き取り、紆余曲折しながらも「その人」「その家族」をとらえた個別支援を行っていきます。

この物語の中で、著者が相談に来た本人の援助だけでなく家族全体をアセスメントして関わったり、個別支援にとどまらず地域の中でのグループ作りやケアシステム作りを行ったりしていく様子は、保健師の活動そのものです。多くの問題を抱える家族の場合、家族 1 人 1 人に対して別々に支援を行うのではなく、家族にかかわる支援メンバーが協働して働きかけるためのネットワーク作りが行われていきま

す。その過程は決してスムーズなものではなく、物語の中でもそれぞれの立場の違いから意見がぶつかり合う様子や、試行錯誤しながらケアチーム作りをしていく様子が描かれていて、新たに構築するネットワーク作りの難しさとその必要性を痛感させられます。

また、この本の家族の物語は、このような保健師の活動を知るだけでなく、「それぞれの家族にはその家族の有り様と家族 1 人 1 人の思いがある」こと、そして「家族と向き合うということはどういうものか」を考えてみるきっかけにもなります。

大学の実習では、保健師の活動に実際に接するのは 4 年生になってからになります。それまで「実習のイメージがつかない」と不安に思っている人や、「保健師ってどんな仕事をする人だろう」と思っている人にぜひ読んでもらいたいお勧めの 1 冊です。

○請求記号：N810-Mi77（棚 3 右側(1 階)）2 冊所蔵

上越市の郷土史をご寄贈いただきました


合併に伴い上越市となった地域の郷土史を、上越市公文書館準備室様に依頼したところ、現在入手できるものをすべてご寄贈いただきました。ありがとうございました。

1 階奥の「地域資料コーナー」に配架しています。

＜新たに加わる郷土史＞

- ・ 安塚町史 ・ 大島村史 ・ 牧村史 ・ 柿崎町史 ・ 大潟町史 ・ 中郷村史
- ・ 板倉町史 ・ 三和村史

郷土史を検索する際は「旧町村名」または、「市」「町」「村」を外して検索してください。

延滞の常習者に警告 

一部の利用者に、延滞が常習化しています。

貸出期間内に読み終わらない場合は、**返却期限日までに**カウンターで貸出延長をしてください。

現在、延滞者に対しては、返却するまで貸出停止のペナルティを課していますが、今後は

「返却後も、延滞日数分は貸出停止」とするペナルティを検討しています。

誰もが気持ちよく利用できるようご協力をお願いします。

利用統計

2002年度～2007年度(9月末現在)

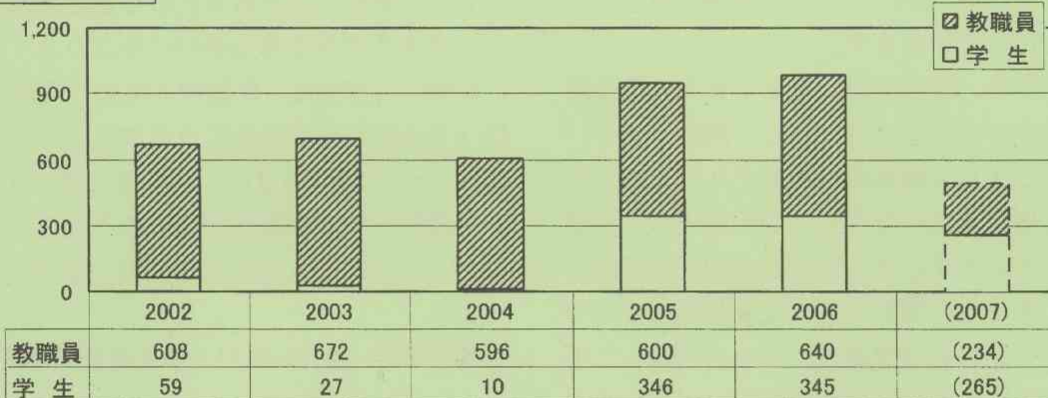
入館者状況



貸出状況



文献複写依頼件数



貸出図書ベスト10 (2005-2006年度)

2005年度		2006年度	
1位	母性看護学 2 産褥・新生児 医歯薬出版 1995 (N300-B66-2)	1位	治療薬マニュアル2005年版 医学書院 2005 (499.1-C47-05)
2位	高齢者 中央法規出版 1996 (N640-Ka54) 今日の治療薬 2005 南江堂 2005 (499.1-Ko75-05)	2位	New疾患別看護過程の展開 学研 1999 (N220-N68)
		3位	母性看護学 2 産褥・新生児 医歯薬出版 1995 (N300-B66-2)
		4位	日本看護学会論文集 第36回 小児看護 日本看護協会出版会 2006 (N062-N71-36)
5位	高齢者の特徴と日常生活看護のポイント メジカルビュー社 2003 (N640-A53) 国民衛生の動向 厚生統計協会 2003 (498-Ko48-54) 高齢者の転倒ケア 医学書院 2001 (N640-Su96)	5位	褥瘡対策のすべてがわかる本 照林社 2002 (N211-Sa61)
			医療薬日本医薬品集 2005 じほう 2004 (499.1-N71-05)
			エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図 中央法規出版 2001 (N222-Ko35)
9位	The疾患別病態関連マップ 学習研究社 2001 (N220-Th2)	8位	今日の治療薬 2005 南江堂 2005 (499.1-Ko75-05)
	看護技術を根拠からマスターしよう 医学芸術社 2004 (N210-Ka54)		ナースのための質問紙調査とデータ分析 第2版 医学書院 2002 (N251-I75)
	実践!リハビリテーション看護 脳卒中を中心に 照林社 2004 (N920-Ka43)		日本看護学会論文集 第36回 成人看護 2 日本看護協会出版会 2006 (N062-N71-36-2)
	急性期にある患者の看護 2 周手術期看護 広川書店 1997 (N500-Se17-3)		
	リハビリテーションとケアインターメディア 2004 (N920-R39)		
	ナースがこたえる心臓の病気200の質問 メディカ出版 2004 (N545-U32)		
	エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図 中央法規出版 2001 (N222-Ko35)		

順位 書名 出版者 出版年 (請求記号)

図書館での初歩的な調べ方

課題やテーマが未知の内容だったときや疑問に思う事柄があったとき、まずはOPAC検索して答えを探そうとしていませんか？パソコンにキーワードを入力するだけが図書館での調べ方ではありません。図書館での初歩的な調べ方を紹介しましょう。

(1) 辞書・事典を引く

「辞書」では語句の意味や成り立ち、「事典」ではことごとや物の成り立ち、構造、現象、研究動向などが分かります。たとえば「ジャンク DNA」について述べる時、専門的な事典（例・『分子生物学・免疫学キーワード辞典』第2版 医学書院）を引いたり、一般的な百科事典や国語辞書等（例・『イミダス』集英社）を引いて基本情報や概念を把握しておけば、文献を読み進めやすくなり、考えをまとめる上での基礎になります。

下記は“看護”の専門的な事典類です。一部を紹介します。

① ことばの意味やことごとを調べる

『看護学大辞典 第5版』メチカルフレンド社, 2002, N033-Ka54(棚1左側(1階))

『看護・医学事典 第6版』医学書院, 2002, N033-N38(棚1左側(1階))

: 臨床の場で役立つ基本的用語を収録。evidence-based の考え方や看護倫理の観点など、保健医療福祉および看護をめぐる新しい動向を取り入れて解説されている。

『臨床看護事典 第2版』メチカルフレンド社, 1998, N033-Ka54(棚1左側(1階))

: 項目は「疾患の知識」と「看護の展開」の2部構成。

『看護研究用語事典』医学書院, 1994, N250-P87(棚2右側(1階))

: 看護研究に用いられることばの正しい意味や、看護研究に関する術語の概念を確かめることができる。

『看護行為用語分類』日本看護協会出版会, 2005, N034-N71(棚1左側(1階))

: 臨床現場で使われている看護行為用語を整理・分類し、「定義」「対象の選択」「方法の選択にあたって考慮する点」「実施に伴って行うこと」「期待される成果」を明らかにした。

(2) 調査に必要な図書を引く

語句の意味を調べる辞書以外でも、基本的な事項を調べる参考図書があります。一部を紹介します。

② 法令や通達を調べる

『看護法令要覧』日本看護協会出版会, 年刊, N261-Ka54(棚2右側(1階))

『看護六法』新日本法規出版, 年刊, N261-Ka54(棚2右側(1階))

『母子保健行政法令・通知集 第11版』母子保健事業団, 2002, 498.7-B66-02(棚10左側(1階))

③ 社会の状態や行政の取り組みを調べる

『看護白書』日本看護協会出版会, 年刊, N051-N71-年次(窓下書架-入口側)

『厚生労働白書』ぎょうせい, 年刊, N052-Ko83-年次(窓下書架-入口側)

: 毎年、その時々テーマによりまとめられている。巻末に前年に成立した主な法律や厚生労働省の機構、主な厚生労働統計調査一覧が付けられている。厚生労働省のホームページでも閲覧可能。

『子ども白書』草土文化, 年刊, N053-N71-年次(窓下書架-入口側)

: 毎年注目するテーマを特集とするほか、ことしの子ども最前線、特論・20世紀の証言、子どもの発達と権利保障のまとまりで解説されている。

④ 統計データを調べる

『看護関係統計資料集』日本看護協会出版会, 年刊, N054-Ka54-年次(窓下書架-入口側)

: 看護職員の就業状況、養成状況。参考資料として各年度の看護職員確保対策予算額、国家公務員看護師等俸給表、都道府県看護主幹課一覧、ナースセンター所在地一覧などがある。

『国民衛生の動向』厚生統計協会, 年刊, N055-Ka48-年次(窓下書架-入口側)

『国民の福祉の動向』厚生統計協会, 年刊, N055-Ka48-年次(窓下書架-入口側)

『保険と年金の動向』厚生統計協会, 年刊, N055-H82-年次(窓下書架-入口側)

『人口動態統計』厚生統計協会, 年刊, N056-J52-年次(窓下書架-入口側)

: 戸籍法等による、出生、死亡、婚姻、離婚および死産の5つの届出を基に市町村長が作成した人口動態調査票を集計したもの。厚生労働省で実施している主要統計調査については「厚生労働省統計表データベース」(<http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/index.html>)で閲覧・ダウンロードができる。

『統計情報インデックス』2006, 日本統計協会, 年刊, 350.19-So39-06(窓下書架-入口側)

: 統計情報の索引誌。どんな統計情報があり、どこに掲載されているかを知ることができる。

⑤ 臨床検査データや検査方法を調べる

『看護データブック』第3版, 医学書院, 2007, N221-Ka51(棚2左側(1階))

以上の図書の内容説明は『看護研究のための文献検索ガイド』第4版 日本看護協会出版会、2005(N251-Y48)の第6章より引用しています。一部図書館で追加した図書が含まれています。これらのほかにも有用な図書が多く紹介されていますのでぜひご覧ください。

(3) 図書と雑誌(論文)の違い

文献は、図書と雑誌に掲載されますが、どちらにどんな文献が掲載されるか知っていますか？

図書は「系統的にまとめられた」「スタンダードな」「評価の定まった」知識が載っています。

雑誌は「最新の研究情報・動向」や「現在話題となっている情報」が載っています。

また、この2つを調べるツールは異なります。例えば、OPAC 検索では、図書の「書名」で検索できますが、雑誌の「論題名」では検索できません。

医中誌 Web では雑誌論文情報を探すことができますが、図書情報は収録されていません。このように、文献・媒体の種類によって検索するデータベースが異なります。

文献検索する前に、使用するデータベースの特性を確認しておきましょう。

(4) 分類で探す

キーワードがうまく引き出せない場合は、直接書架へ行って図書を見てみましょう。図書館は、図書の主題に応じて「分類」がされています。老人看護実習に行き、リハビリテーションについて疑問が生じたとします。この場合の分類記号は何でしょうか。

老人臨床看護⇒N640

が、まず思いつく分類でしょう。ほかに関連する分類として

老人医学⇒493.18[成人医学]

老人福祉⇒369.26

リハビリテーション⇒494.78

リハビリテーション看護⇒N920 などがああります。

ひとつの分類を見て不十分であったら、関連する他の分類にもあたってみましょう。

当館では看護学図書は“日本看護協会看護学図書分類表”、その他の図書は“日本十進分類法”に準拠しています。入口右側の壁に2つの表があります。一度ご覧になってみてください。

寄贈図書案内

下記のみなさまより著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。(2007/6/1～2007/10/31 受入分)

	寄贈者	書名	著者名	出版年	請求記号
教 員	吉山直樹	面接時の受診者(クライアント)と医療者の身体姿勢に関する行動学的研究	吉山直樹 研究代表者	2007	N214-Y94
	徐 淑子	Let's Condoming! (VHS)		[2007]	367.9-133
学 外	松田慎也	ダンマパダ 心とはどういうものか	松田慎也著	2007	183-Ma74
	加藤雅枝	Women's rights? social movements, abortion and eugenics in modern Japan	Masae Kato	2005	498.2-Ka86
	古川 宏	梅の花	古川宏著	1996	289-F93

寄贈受入紀要・雑誌タイトル(2007/6月～10月受入分)

相澤病院医学雑誌	外交フォーラム
昭和大学保健医療学雑誌	日本救急看護学会雑誌
地域交流研究センター年報 (三重県立看護大学地域交流研究センター)	日本慢性看護学会誌
東北福祉大学研究紀要	
武蔵野大学看護学部紀要	

図書館だより 第21号(2007年12月7日発行)

編集:新潟県立看護大学 図書委員会

〒943-0147 上越市新南町240番地

e-mail: tosy@niigata-cn.ac.jp

発行:新潟県立看護大学 図書館

TEL: 025-526-1169

URL: http://lib.niigata-cn.ac.jp